

新刊第44号 [通算129号]
発行日 2011年7月20日
六興電気株式会社 社内報

ろっこう



六興電気オリジナルかりゆし(沖縄営業所作成)

業務を通じてこそ、復興に貢献できる。

代表執行役社長 長江 洋一

6月恒例の安全大会は今年も各地で開催され、私は10ヶ所に出席しました。安全講話など、型どおりの内容が多かったものの、どの支店でも多くの協力業者の方々に参加いただき、貴重な情報交換の場を持つことができました。今年は安全大会の合間に、現場視察も行いました。ところが私は佐世保で細いホースに躓きそうになり、あわや労働災害という経験をしました。この現場はよく整理されていてホースも養生されており、躓きの原因は天井の配管に気をとられていた私の不注意です。絶対安全な現場はなく、実効性のある安全施策をとった上で、それでも残るリスクを認識し、これに対応する安全意識を持って初めて安全な現場が実現できる、ということを実感した次第です。出張続きで疲れましたが、6月はそれ以上のものを得ることができたと感じています。

知性に基づいた決定をすることだと思うのですが、如何でしょうか。

中間決算と期末の見通し

中間決算がまとまり、期末の業績も見えてきました。まず中間決算ですが、完成工事高は228億円とほぼ前年並みだったものの、原価率は90.1%と、対前年比で3ポイント上昇しました。その結果、経常利益は11億1200万円と、前期比で37%の減益となりました。一方、受注高は約174億円、前年比△55億円と厳しい状況となっています。内訳は集合住宅が46%、米軍などの軍事施設が11%を占めているのですが【グラフ1】、官民別に集計してみたところ、官庁は31億円(全体比18%)となりました【グラフ2】。第69期は22億円(同10%)だったので、官庁からの受注が伸びているのがわかります。後半もこの傾向は続いています。これは重点調査価格の推計精度が向上してきたこと、80点以上の工事評点を取るための諸活動が実を結んだ結果ではないかと考えます。最後に期末の受注高は350億円～360億円とほぼ前年並み、経常利益も15億円程度となる見通しです。受注に関しては粗利率が低下しており、第71期に向けて今から気を引き締めてかかってください。

得意分野で戦う

6月は、来期の経営計画に着手する時期でもあります。材料としては、東北の復旧・復興工事や、活況を呈している岩国地区での出件がありますが、住宅と米軍は当社が譲るわけにはゆかないフィールドです。勝ちやすいフィールドで戦うというのが当社の方針ですが、たまたま読んだ本(営業で勝つランチェスター戦略)によると、これは故・田岡信夫先生が提唱していた考え方だそうです。一番戦いやすいフィールドとはシェアNo.1の分野なのですが、ちゃんと訳があつてのシェアNo.1でなければ簡単に崩れてしまいます。ですから我々は、攻めてくる他社を振り切れるだけの、圧倒的な実力を備えなければなりません。そこで私は、東北の阿部所長ほか3名をフィラデルフィアで開催された照明器具+省エネの展示会に連れて行きました。現地では米国製品のトレンドを確認し、帰路には配電盤の工場で三沢の仕様書を見ながら打ち合わせと、技術的に得るものが多い旅でした。しかし本当の狙いは、アメリカ文化を体感し、次回は一人でいけるようになるための訓練でした。そのため、レンタカーの借り方、カーナビの使い方、ガソリンの入れ方、モーテルの泊まり方、国内線の乗り方、さらにはロードサイレストランで何を注文したらよいか、といった事を体験させました。米国に出張したとき、こんな事で意外に苦労するものです。また我々は基地の中で仕事をしており、米国民の生活に馴染んだ人間が多くいることは、営業的にも施工的にも大きな力となると考えます。客先(米軍)が何故こういう要求をしてくるのか、といった事柄が、頭ではなく感覚でわかる人材が多数いたら、当社は他社よりも的確に対応できることは、想像に難くありません。

創針塾IIをスタート

会社の強化には、マネジメントのレベルアップも重要です。私も今年59になるので、そろそろ次世代の人たちに準備を開始してもらおう時期と考えます。そこで、2003年4月～2005年12月に実施していた創針塾を、新しい形で再開する事としました。創針塾は有望な若手が月1回集まり、一見仕事とは無関係に見える資料をもとに討論をする場でした。目的は視野を広く持ち、物事の本質を見極める習慣の確立で、卒業生は今では会社の中核を担うまでに成長しています。そこで今回は、第一期の卒業生を中心に運営をしてもらい、更にひとつ下の人材開発を狙います。卒業時には、私の特別講義も行います。塾生に指名された方は1年間、頭を柔らかくしてついてください。

長江洋一

被災地を視察しました

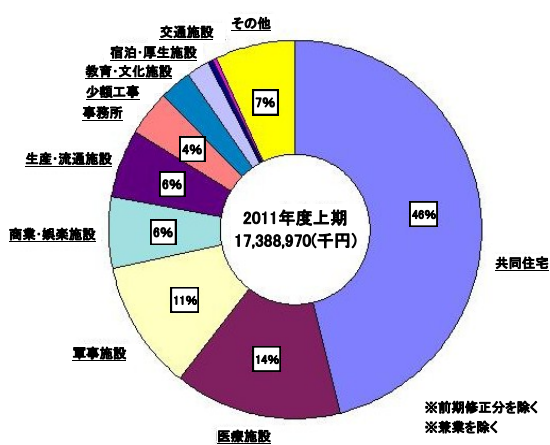
今回はまた、東北の被災地と、当社が施工中の仮設住宅も視察しました。被災地を訪れた人は異口同音に、言葉が出ないと言います。現地はまさにそんな状況で、小学校の黒板に書かれたままになっている3月11日の給食当番の名前が、突然襲ってきた津波を生々しく語っています。ただ現地にゆくと、東京との間に微妙なギャップも感じられました。東京では被災地を、「かわいそうだ」「助けてあげないと」、という哀れみの感覚で見がちです。しかし現地では、建設業に携わる我々が仕事をして、新しい施設を作らねばどうにもならない、なんとかしよう、という前向きな力強さを感じられるのです。仮設住宅は、東北・新潟・北関東・千葉・横浜支店でチームを組み、7月1日現在までに799戸を竣工させました。実質2週間で100戸を完成というのは、仮設とはいえ大変な仕事量ですが、期日に引き渡せるよう忙しく作業をしていました。東北支店ではまた、復興工事の前段階である復旧工事も、いくつか施工しています。幸いにして、一時は買占めで不足していた電線も手に入るようになりました。我々は本業を通じて、被災地の復旧・復興に寄与する立場にあります。今こそ建設業としてのプライドを持って、業務に精励しなくてはなりません。

ところで私は、最近の日本は、目先の感情に迎合するだけの薄っぺらい国になってしまったのではないかと本気で心配しています。例えば、東電に対する4兆円の債権放棄を言う政治家がいますが、銀行にはBIS規制といって、総資産の8%を自己資本として用意する国際規則が課せられています。ですから4兆円の債権放棄を行うと、その分だけ自己資本が減るので、市場から50兆円の貸付金を回収しなければなりません。この結果、財務体質の弱い企業が倒産するのは自明です。そうしたらまた、貸し剥がしと非難するでしょう。他にも例がいくつもありますが、それらを見ていると、政府は「〇〇がけしからん」、という感情に基づいて政治をやっているのが良くわかります。しかし良く考えずに目先の感情に流されると、新たな問題を作ってしまうものなのです。大切なのは、数字をベースに理性と

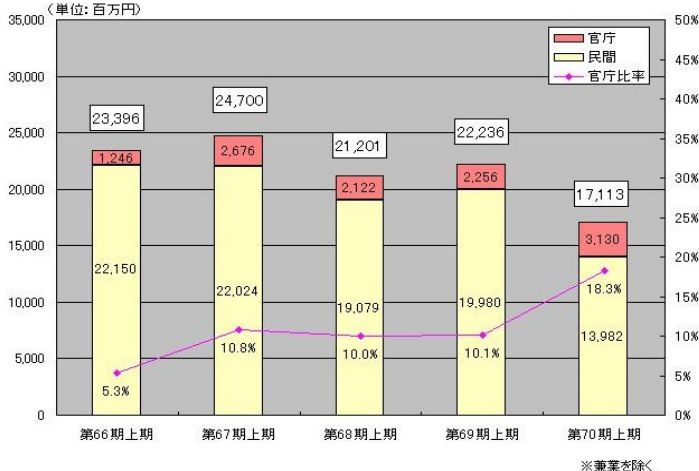
2011年夏号 目次:

創業62周年記念式典開催	2～3
中間決算報告	3
各地の竣工物件	4
部署紹介 ー静岡支店ー	5
ろっこうニュース	6～7
・1日も早い復興を	
・前田建設工業(株)社長賞 受賞!	
・神戸支店 ダブル受賞!	
・恒例 ボランティア活動	
・幅広い人材を求めて	
・日々の努力が記事に	
・大震災の夜に	
リレートーク	
東北支店 小野さん	8
活躍する六興OB	8
美味しいお店	8

【グラフ1】受注高の用途別構成比率



【グラフ2】受注における官庁工事比率の推移



創業62周年記念式典開催

創業62周年記念式典 六興電気株式会社



5月7日(土)に芝パークホテルにて、創業62周年記念式典が開催されました。本式典は5月20日の創業にちなんで毎年5月に行われ、私たち社員にとって、六興電気の深い歴史を感じ、未来への飛躍を誓う大切な行事です。震災後の自粛ムードでパーティを控える企業が多くある中、当社は例年通り、OBの六友会と協力会社の方々を招待し、総勢177名で盛大に行いました。

第一部では社長・名誉会長からのご挨拶の後、各賞の表彰がありました。長江社長からは次のようなお話がありました。「震災の後、世の中はどんどん変わっていきます。このような変化がある時代こそ我々の出番なのではないか、強みを発揮できるときなのではないかと感じております。物事をすべてに予想してすべてに手を打っていくことは無理で、物事が起きてからいかに早く対応するかが当社の真骨頂です。今年、奇しくもそれが試されています。今日もたくさんの表彰がありますが、来年、再来年もたくさんの表彰があることを願いつつ表彰を読み上げさせていただきます」。続いて名誉会長からは創業時の貴重なお話をいただき、「今日まで社是に書いてあることを忠実に守ったことで今の六興電気があると思います。創業者として皆さんに感謝申し上げたい。70周年、80周年も立派に行っていきたい」とのお言葉をいただきました。第二部は終始和やかな雰囲気の中で、あっという間に過ぎてしまいました。皆さん美味しい食事とお酒を片手に談笑したり、真剣に議論したりと貴重な時間を過ごしていらっしゃるようでした。宴の中締めは当社OBで協力会社金澤電機(株)社長の金澤忠様のお言葉でお開きとなりました。私は事務局として参加させていただきましたが、来年もまたこのいい日が迎えられるよう、本社スタッフとして日々の業務の中で会社に貢献できればと思いました。

(人事管理室 宮崎 知美)

創意工夫努力賞

金賞

- ・東北支店 高橋 誠二 他 ホテルレオパレス仙台東口
- ・横浜支店 相澤 一真 横浜岡田屋、横浜岡田屋モアーズ電気設備

銀賞

- ・北海道支店 北島 忠宏 他 西東京市向台3丁目共同住宅計画
- ・東京本店 荒河 実己 他 有明TT計画(共用部)
- ・名古屋支店 江口 裕明 他 旭・板屋C地区 第一種市街地再開発事業
- ・大阪支店 今津 真一 御殿山プロジェクト
- ・エネルギープラント部 島田 浩 他 三菱重工業(株)原子力検工

銅賞

- ・システム開発室 榎本 聡 他 全社TV会議システム構築
- ・エネルギープラント部 柿本 吉孝 他 関電 大飯他 原子力定期修繕
- ・エネルギープラント部 岡崎 中生 他 三菱重工業(株)高砂製作所RCP振動計測

優秀個人賞

- ・東京本店 山本 隆夫 流山おおたかの森D86街区(設備工事)
- ・エンジニアリング事業部 正岡 久幸 携帯電話基地局建設関連プロジェクト
- ・新潟支店 田中 卓見 ポレスター新潟アクアガーデン
- ・茨城支店 録田 利男 介護老人保健施設もえぎ野
- ・大阪支店 辻井 一晃 リバーガーデン福島
- ・大阪支店 井上 和英 積算業務
- ・中国支店 神本 啓 岩国飛行場BLDG137トレーディングハウス

優秀グループ賞

- ・千葉支店 小山 雅史 他 メロ市川店
- ・静岡支店 田中 伸一郎 他 浜松(20)局舎新設電気(通信)工事
- ・名古屋支店 佐藤 健治 他 グランドメゾン西高蔵
- ・エネルギープラント部 杉原 隆次 他 六ヶ所メンテナンス工事
- ・中国支店 白水 亮 岡山労災病院新棟(営業)

25年永年勤続者

- ・東京本店 別府 保成 ・エンジニアリング事業部 和田 昌美
- ・神戸支店 小林 卓美 ・エネルギープラント部 土井 義彦
- ・エネルギープラント部 三田村 洋一

創意工夫努力賞 金賞受賞



東北支店 高橋 誠二さん

まず、この度の震災でたくさんの御支援をいただきました事、心より感謝申し上げます。

この現場は施主がレオパレス21、ゼネコンが三井住友建設、設計事務所が3社あり奥野設計、イリア、そしてイタル・マエダ・デザインの地下1階、地上8階建のホテルです。現場で苦労したのは、仕上げ工程が厳しくなってしまう、地下1階から3階まで同時施工となったことです。管理・施工共に大変でしたが、作業員を増員してもらい、なんとか乗り

切ることができました。受賞できたのは、いろいろな方からの助言、A材のVE、現場で他業種とのコミュニケーションがうまくとれたこと、ゼネコンと良い関係にありスムーズに取り決めができたこと、また支店の仲間の協力があつたからだと思います。今後は、この賞に満足することなく、更なる貢献、そして精進していきたいと思っております。

横浜支店 相澤 一真さん

この現場は、横浜岡田屋モアーズという横浜駅西口の駅前広場に面する昭和43年に開店した商業施設で、40年以上経過している幹線と分電盤の更新工事でした。当社としては昭和57年の大規模改修工事以来お世話になっている物件であり、私は平成20年の全館リニューアル工事の際に一担当者として携わった現場でした。

苦労した点は、既存設備や幹線系統がどうなっているのか調査することにかかなりの時間を費やしたことです。既存の図面は竣工当時のものやリニューアル工事の図面などがありましたが、当然それ以外に当社、他社施工の細かい改修工事が多数見られ、竣工図だけでは判断がつかせませんでした。そのため、設備を管理されている方々へのヒアリング、配線チェッカーを使っての調査、それでも不明確な幹線はリスクがないことを確認し客先に説明のうえブレーカーで切って全数回路を調査しました。しかし、その事前調査のおかげで、ショートカットできる幹線ルートを見つけることができ、結果的に幹線サイズのダウンなどコスト削減にもつながったことが良かったことだと思います。事故やミスで営業を止めてはならないプレッシャーが付き纏いましたが、大きな問題なく引き渡すことができ、ほっとしております。お客様への信頼を損なわずさらに良い関係が築けたことで次につながる現場営業もできたのかなと感じており、改修工事の経験として私にとっても良い経験になった現場だったと感じております。

私の故郷は仙台市で、震災では幸いにも家族が無事でしたが、みなさまと同様胸を痛めている一人です。この賞金の一部は、義援金として使わせていただきたいと思います。

25年永年勤続者



神戸支店 小林 卓美さん

私が入社したのは、1986年4月。入社式を終え、配属先の神戸支店に着いたのは迎日も暗くなった19時頃でした。支店長室に通され、「新入社員の小林です」と挨拶も束の間、「遅い」と一喝され、「飯行こぞ」の一声でそのまま近所の焼鳥屋へ連れて行かれました。その時の支店幹部は、支店長が上本元副社長、営業は重村理事、工事次長の山本元支店長、管理室には小田原本部長と、今思えば激動時代の錚々たるメンバーの部署であり、強烈な不安と

恐怖を覚えたことを今でも鮮明に思い出します。翌日から先輩に連れられて、訳も分からず竣工前の現場を走り廻りました。当時は、「現場のことは体で覚えろ」「人を当てにするな」「自分で解決しろ」とスパルタ的教育指導と言うか、ただのほったらかし。その割に現場でトラブルやクレームがあったときは、「なんでや」「報告が遅い」と槍玉でした。何だかんだで阪神大震災の復興も落ち着き始めた13年目、北近畿のショッピングセンターの管理責任者を任されました。地元業者に責任施工で発注したところ、オープン1ヵ月前になり平屋の約13,000㎡の売り場の天井の半分以上が仕上がっているにもかかわらず、ケーブル配線はほぼゼロ。「絶対に終わらん」と思いましたが、資材調整や他部署の協力もあり、なんとかオープンに漕ぎつけることができました。どんな現場でも諦めなければ何とかなんとかなるとほったらかしの間、オープン初日、開店から30分で売り場照明が停電。死に物狂いで電気室に駆け込み、ブレーカーを投入したことは今でも思い出されます。

色んな現場を経験しましたが、よく思い出するのは、怒られた現場ばかりです。これも、自分の財産と思い、今まで面倒見てくださった客先、協力業者の方々、神戸支店の皆様に感謝しています。昨年、工事から営業と変わりなかな業績が上がっておりませんが、今までの経験を生かし、職務を全うしていきたいと思っております。

最優秀個人賞

中国支店 神本 啓さん

現場は、岩国米軍基地内での工事で、全てが未経験のことばかりでした。中でも、仕様書・図面は全て英語で記入されており、提出書類までもが英語ということにとっても苦労しました。また、米材とはどのような器具なのか。取付はどのようにすればよいのか。全て鉄管での施工で工期は間に合うのか等、不安でわからないことだらけでした。



しかし、施工前に沖縄の嘉手納基地で沖縄営業所の皆様に施工方法、資料提出の方法などを優しく教えていただき、不安は取り除かれました。施工が始まると協力業者の方と密に打合せを行い、改修工事なので既存の配管が使用できるのであれば、早い段階で軍及び設計事務所に質疑を提出するよう努力をしました。

今回受賞ができたのは、社内の皆様のご指導、協力業者の皆様のお蔭と感謝しております。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

最優秀グループ賞

名古屋支店 佐藤 健治さん

今回私の携わった現場はグランドメゾン西高蔵新築工事という236戸の分譲マンションで、住戸棟4棟及び共用棟1棟の最高19階建ての建物でした。敷地が狭いうえ外構工事の工期も厳しく、工程管理には十分気を付けました。建築と毎日作業調整を行い、支障のないよう現場を進めました。一度断られたVE案は再度交渉して、受け入れてもらいました。断られてすぐ諦めていれば、今回の賞も受賞できなかったかもしれません。また各住戸棟ごと協力業者が違っていたため、施工方法の統一を図ることを重点に置きました。施工図では表しにくい細かい施工方法や使用材料を1冊のノートに書き、休憩時等に各業者に見てもらい、共通の認識を持ってもらいました。幸い協力業者同士で気心の知れた中でしたので、情報の共有をスムーズに行うことができ、手戻り・手直し等は最小限に抑えられたのではないかと思います。



最後になりましたが、アドバイスをくださった先輩及び協力業者の皆様のおかげで、無事に竣工を迎えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。また、この賞を糧に頑張りたいと思います。



25年戦士たち

安全衛生大会が各支店で行われました ～北海道支店～



6月14日、工事安全衛生協力会北海道支部並びに六興電気㈱北海道支店の共催による安全衛生大会が、札幌第一ホテルにて開催されました。増山支店長、芳賀支部長の挨拶に続いて、今年は長江社長、松村本部長に来賓として出席していただき、長江社長からご挨拶を頂戴いたしました。その後は、安全表彰、支店安全衛生活動報告、現場安全衛生活動報告を行い、引き

続き工事安全管理部の福嶋部長より「安全は想定内」と題した講話をいただきました。東日本大震災発生時の東京ディズニーリゾートでの対応を例にとり、「TDRでは、今回の災害以上を想定して年間180回の避難訓練をしていて、正社員からアルバイト社員までマニュアルには書かれてない行動を自らの判断で取った」とのこと、安全管理に対する本質にかかわる興味深いお話でした。

最後に池田副支部長が大会宣言を行い、大会を終了しました。大会後の懇親会は、北海道支部初の立食スタイルで行われ、例年以上に各協力業者さんとの交流を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。(北海道支店 荒谷 学)

中間決算報告

【経営成績に関する分析】

第70期中間決算ですが、売上高は22,795百万円(前期比-4.4%)、売上総利益は2,259百万円(前期比-27.6%)となりました。大型物件の減少に伴い中・小規模物件にも柔軟に対応したこと、また、官庁案件にも積極的に取り組んだことで、売上高は前期とほぼ同等の水準を維持することができました。一方、利益面では、売上総利益が前期と比べ大幅に減少しました。

貸借対照表

2011年3月31日現在		(単位:千円)	
科目	金額	科目	金額
(資産の部) (24,537,753)		(負債の部) (14,556,636)	
流動資産	21,904,453	流動負債	13,216,987
現金預金	7,818,231	支払手形	757,930
受取手形	3,741,855	未払金等	10,782,513
完成工事未収入金	8,973,746	未成工事受入金	980,924
未成工事支出金	338,885	その他	80,369
その他	1,188,733	賞与引当金	246,250
貸倒引当金	▲157,000	工事損失引当金	369,000
固定資産	2,633,299	固定負債	1,339,648
有形固定資産	604,766	退職給付引当金	1,231,998
建物・構築物	367,800	その他引当金	107,650
機械・運搬具等	81,752	(純資産の部)	(9,981,117)
土地	155,212	株主資本	9,997,785
無形固定資産	6,963	資本金	500,000
電話加入権	6,963	資本剰余金	160,680
投資その他の資産	2,021,570	利益剰余金	8,692,648
投資有価証券	331,626	利益準備金	125,000
長期貸付金	815,429	その他利益剰余金	
破産債権等	0	別途積立金	8,567,648
繰延税金資産	498,745	繰越利益剰余金	616,201
その他	383,167	自己株式	▲69
貸倒引当金	▲7,398	評価・換算差額等	▲16,668
資産合計	24,537,753	負債・純資産合計	24,537,753

(注)金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

損益計算書

自 2010年10月1日 至 2011年3月31日		(単位:千円)	
科目	金額	科目	金額
売上高			22,795,768
完成工事高	22,710,932		
兼業事業売上高	84,835		
売上原価			20,536,123
完成工事原価	20,470,878		
兼業事業売上原価	65,244		
売上総利益			2,259,645
販売費及び一般管理費			1,185,437
営業利益			1,074,207
営業外収益			60,683
営業外費用			15,856
経常利益			1,119,034
特別利益			18,400
特別損失			24,949
税引前当期純利益			1,112,485
法人税、住民税及び事業税	474,770		
法人税等調整額	21,514		
法人税等合計			496,284
当期純利益			616,201

これは、前期に比べて工事の採算性が低下したことに加えて、受注競争の激化によって受注時粗利率が低下し、工事損失引当金を256百万円計上したことなどが要因です。これに伴い、中間決算での営業利益は1,074百万円(前期比-38.2%)、税引前当期純利益1,112百万円(前期比-37.2%)となりました。

そして期末の業績ですが、売上高は39,622百万円、営業利益は878百万円を見込んでいます。手持ち工事の中には来年春に竣工する大型物件が多く、これらの進行基準出来高の計上が見込まれること、また、下期には大型マンションや総合病院等の受注が予定されていることから、売上高は前期より約40億円増加すると予測しています。

【財政状態に関する分析】

1. 資産・負債の状況

工事完成基準から進行基準への移行により、未成工事支出金・未成工事受入金はほとんど計上されなくなりました。その分、完成工事未収入金・工事未払金は前期よりも増加しています。また、現金預金が第69期末よりも1,636百万円増加し、7,818百万円となりました。

2. 純資産の状況

純資産は資本金+過去の利益の積み上げであり、多いほど健全性の高い会社と言えます。第70期中間決算での純資産は前期末よりも551百万円増加し、9,981百万円となりました。自己資本比率も40.6%と引き続き高い水準を維持しており、健全な経営状態が保たれていると言えます。なお、今期末には、純資産は100億円に達する見込みです。(管理本部 坂本 孝行)

各地の竣工物件

グランドテラス新都心

契約先 大和ハウス工業(株)
 設計監理 大和ハウス工業(株)
 工期 2010年1月～2011年6月
 施工場所 沖縄県那覇市おもろまち
 建築概要 延床面積 5,408㎡
 RC造 地上14階 104戸
 施工部署 沖縄営業所
 協力業者 シンセイ電機工事(株)



今回、沖縄地区では3件目のマンション工事となります。当物件は、目の前には観光の聖地DFS(DUTY FREE SHOP)免税店があり、その横には那覇空港までのアクセスに便利なモノレールの『おもろまち駅』、その他にも商業施設が隣接しており、毎日観光客や地元の人達で賑わっている立地条件のよい場所にあります。

今回の物件は、1LDK(3タイプ)の賃貸マンションでしたが、デザイナーズマンションという売りで若い女性や単身者などをターゲットにした物件でした。特にエントランスにおいては、大和ハウス工業(株)の並々ならぬこだわりで、床には天の川をイメージした通路があり、その中には地元特産の琉球ガラスが散りばめられており、また壁には琉球ガラスで作った12星座がディスプレイされていて見事な宇宙空間的なエントランスに仕上がっています。工期は、販売の関係で竣工1ヶ月前の完成を目指して施工したため、最後はバタバタとしましたが協力業者の方々や関係者のご協力のおかげで無事無事故・無災害で竣工することができました。ありがとうございました。

(沖縄営業所 木下 育由)



清水駒越ショッピングセンター ベイドリーム清水

契約先 鈴与建設(株)
 設計監理 鈴与建設(株)一級建築士事務所
 工期 2010年9月～2011年4月
 施工場所 静岡県静岡市清水区駒越北町
 建築概要 延床面積 37,572㎡
 S造 地上2階
 施工部署 静岡支店
 協力業者 北堀電気工事(株)
 弥栄電工(株)・風信電気(株)



ベイドリーム清水は、静岡県内全域・愛知県内に展開する(株)エンチャー様のホームセンターで、広大な倉庫の跡地に建設されました。店内はホームセンターをメインに、スーパーマーケット・ドラッグストア・ファッション雑貨・家電量販店・書店・飲食店が入店している一大ショッピングセンターです。老若男女を問わず子供から大人まで楽しめる施設となっています。近くには清水港の倉庫街や風光明媚な三保の松原や日本平の観光名所への通り道でもあり、交通量はかなり多い場所です。

工期が実質7カ月と短く、協力業者も3社3班に分かれて施工リアを決め、早いピッチで工事が進みました。入店するテナントからの変更事項が多く、それまで作成した施工図や打合せがやり直しとなり、厳しい状況になることも多々ありました。しかし、協力業者と試行錯誤を重ね、乗り切ることができました。

竣工間際の東日本大震災の影響で一部機器類等の資材搬入が遅れましたが、無事4月26日のグランドオープンを迎えることができました。当日は近辺道路が大渋滞するほどのお客様が来店され、各テナントとも大賑わいでした。

無事竣工できたのも皆様の力があってこそだと思っています。1年生の私に貴重な時間を割いてご指導して下さった協力業者の皆様、先輩の皆様、ありがとうございました。



(静岡支店 大村 純也)

アパホテル〈名古屋栄〉

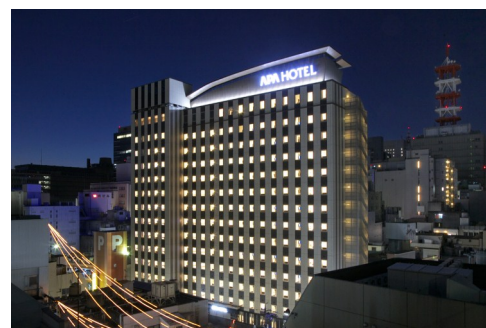
契約先 株熊谷組 名古屋支店
 設計監理 株大建設計
 工期 2010年3月～2011年4月
 施工場所 愛知県名古屋市中区栄
 建築概要 延床面積 7,711㎡
 S造 地上15階 400室
 施工部署 名古屋支店
 協力業者 株五幸電設・三共電気工業(株)



当物件は、名古屋一の繁華街である栄の女子大小路という地区にあり、廻りは飲食店に囲まれた場所です。いくつもあるアパホテルですが、ここは客室400室で最上階の15階には大浴場(露天風呂付)もある最大級と言える物件です。今回、客室及び共用部の照明をほとんどLED照明にしており、客室内にも省エネカードスイッチを設けてあるので、省エネに力をいれつつも、ロビーにはビジネスホテルにもかかわらず特注のシャンデリアをつけて、高級感あふれる意匠となっています。

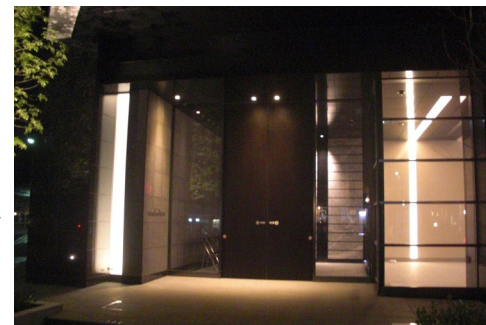
私は設計の手伝いから携わっていたため、設計段階から引込のルート・EPS・屋上の機械置場の検討及び打合せをしていたので、狭いスペースでしたがその点ではスムーズに現場を進めることができました。しかし、客室は家具の形状・配置等の打合せが、施工のぎりぎりまで行われていたため変更も多く、家具業者・家電業者と共に大変苦労しました。1階はレストランとフロントロビーなのですが、意匠に凝っているためこちらも変更が多く、対応に苦労しました。しかし15階建ですので、電工を奇数階と偶数階に班分けしていたため、竣工間際はそんなに慌てることなく、無事故で竣工することができました。

グランドオープン前には、支店長をはじめ社員の方に試泊してもらい、助けてもらいました。何事もなく無事に竣工できたのは、協力業者の皆様の多大なる努力のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。(名古屋支店 宮下 隆)



パークハビオ渋谷本町レジデンス

契約先 東急建設(株)
 設計監理 株三菱地所設計
 工期 2009年8月～2011年5月
 施工場所 東京都渋谷区本町
 建築概要 延床面積 20,641㎡
 RC造 地下1階 地上15階 261戸
 施工部署 東京本店
 協力業者 株KENテクノ、クルメエレクトクス(株)
 有テイクエンジニアリング
 株マチデン



渋谷と言うと、109とかスクランブル交差点とか賑やかなイメージをお持ちの方が多いと思いますが、当物件の渋谷区本町は東は新宿、西は中野に挟まれた渋谷区の最北部に位置し、渋谷駅前とは異なりオフィス街と住宅地の同居する、都内では比較的静かな所です。現場の東側には東京都庁や伊藤園(お茶の)、ロッテ、NTT東日本等の有名企業の本社ビルがあり、西側はほとんど住宅といった感じです。

建物の中身は、1階の7割位と2階の機械置場以外は共同住宅部です。住宅部の構成は、地下1階が、機械駐車・電気室等の機械室になっており、一階の一部がエントランス・管理室、2階から住宅となっています。この中でも特徴的なのが、共用照明にLEDを使用し(地下・階段を除く)、エントランス等は大変凝ったものとなりました。店舗部分については、売場面積が余り広くなかったにも関わらず、工期が4カ月しかなく、住宅工事の搬入車両を避けながらの施工となったり、受電の三週間前に東日本大震災で、引込ケーブルが入ってこなかったりということがあり、大変肝を冷やしました。

全体的にタイトな工程だった上に、地震により材料等が入ってこないということがあり、本当に竣工するのだろうかかと心配したこともありましたが、協力業者の皆様、事務所スタッフの多大なご協力のおかげで、無事竣工することができ、本当にありがとうございました。(東京本店 藤野 勝浩)



部 署 紹 介

静岡支店 ~ろっこうのおへそ 静岡~



老将 小川支店長・若大将 柴田副支店長

静岡県は、東西の大動脈である東海道沿いに町が連なっており、東海工業地帯と呼ばれ発展してきました。私は静岡支店に2010年2月に赴任し1年半ほどになりました。「静岡割り」という焼酎の緑茶割がすごく濃い緑色だったので初めは驚きましたが、気候も温暖で、海の幸・山の幸が豊富でとても住みやすい良いところです。

さて、現在静岡支店の人員は26名、支店のある静岡市は県の中央に位置し、東部を

沼津営業所、西部を磐田営業所がカバーしています。特徴は、工場の新築・改修の仕事の割合が他の支店より多いということです。特に工場の改修工事は土日や夏休みなどの仕事が多いうえ、規制も多く難しい仕事ですが、社員同士知恵を出し合い施工しております。また、今期は大型ショッピングセンターや病院、学校、結婚式場、そして集合住宅など多彩な工事を手掛けることができました。今後の営業方針としては、やはり工場関連の工場のノウハウを蓄積し、少しずつでも拡大していきたいと思っています。

ところで、東海地方と言えば今後30年以内に東海地震(巨大地震)が起こる確率は87%だそうです。静岡支店でも他人事ではなく、準備と心構えを忘れないようにしていこうと思います。また、今回東日本大震災で被災された方には心からお見舞いを申し上げます。最後になりましたが、この歴史のある静岡支店を今後も盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(副支店長 柴田 研一)

沼津営業所



東の磐 川手所長

沼津営業所のある静岡県東部は、富士山からの豊富な地下水源に恵まれた場所です。その湧水は主に飲料水、工業用水、農業用水などに利用されています。そのため豊富な水を求めて多くの工場が建設され、営業所の施工実績としても工場の新築及び改修工事が多くあります。

現在6名の社員からなる沼津営業所は、通称「学園通り」と呼ばれる学校の多くある場所にあり、電車ではJR沼津駅より徒歩15分の場所です。

ただ、沼津駅には新幹線が停まらないというのが電車での移動には少し不便なところかもしれません。しかし、多くの工場がある小山町・富士市・富士宮市などには、営業所から東名沼津インターやバイパスが近いので、車での移動には大変便利になります。そのため、お客様からの急な不具合などには素早く対応する事ができていると思います。

ご存じの方も多いと思いますが、沼津といえば沼津港で水揚げされる新鮮な海の幸が有名です。沼津港の魚河岸には、休日となれば新鮮な海の幸を求めて多くの観光客が訪れ賑わっています。近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

(小長井 亜由美)

磐田営業所



西の磐 和田所長

磐田営業所は3年前に浜松市より移転。以前からあった工事事務所と合併し、名称を変更しました。田んぼと住宅に囲まれており、一番近いJR磐田駅からは4キロ程ですが、バスは2時間に1本しかなく、ちょっと不便な場所にあります。移動は、やはり車中心で、現在7名の社員が、ヤマハ発動機様、日本たばこ産業様など数多くの工場、浜松営業所時代からの病院・老人福祉施設等、静岡県西部地区全体を担当しております。営業所

は、ほとんど現場事務所化しています。

磐田市はJ1ジュビロ磐田の本拠地であり、ホーム試合の時は街中がサックスブルーのジュビロ磐田一色に染まります。スタジアムの照明設備は当社で施工しましたので、見学も兼ねてぜひ一度観戦にいらして下さい(もちろんジュビロ磐田の応援ですよ)。

(金原 和美)



磐田営業所の主

工事実績 代表例

工事件名	契約先	場所	工期
シモンズ富士小山工場	矢作建設工業㈱	駿東郡	2008.07-2009.03
浜松(19)飛行指揮所新設電気・機械設備	南関東防衛局	浜松市	2008.05-2009.08
北番町計画新築電気設備	㈱間組	静岡市	2008.03-2009.03
谷田幸原線トンネル照明・非常用設備	三島市	三島市	2009.08-2010.03
国立青少年交流の家研修棟新営	国立青少年教育振興機構	御殿場市	2009.08-2010.03
浜松(20)局舎新設(通信)工事	南関東防衛局	浜松市	2009.07-2010.09
静浜(20)隊舎新設等電気その他工事	南関東防衛局	焼津市	2009.02-2010.03
ポレスター静岡ランドマークスクエア	㈱土屋組	静岡市	2009.04-2010.07
神奈川県市町村職員共済組合新保養所	前田建設工業㈱	足柄下郡	2008.04-2009.10
国立駿河療養所受変電設備棟更新築	国立駿河療養所	御殿場市	2010.09-2011.02
西山の杜新築電気設備工事	㈱中村組	浜松市	2010.11-2011.02
浜松局舎新設電気(教育講堂)	南関東防衛局	浜松市	2010.09-2010.12
清水駒越ショッピングセンター	鈴与建設㈱	静岡市	2010.09-2011.04

隠れた名品紹介 ~静岡のうなぎ~

部署紹介ということで2つの営業所も載せていただきましたので、今回はそれぞれの事務所でおすすめの「うなぎ」を紹介します!



「あなごや」さん

まずは、静岡支店のお勧め『あなごや』さんです。2005年4月号「ランチメニュー」の記事に老舗としての歴史を紹介しましたので、今回は本命の“鰻”に絞ってご紹介いたします。うなぎにもいろいろありまして、三枚入、棚入とありその日の腹(懐)具合で注文できます。重箱の蓋を開けると褐色に光輝くかば焼きと独特の香ばしい香りが食欲を刺激します。山椒をパラパラとかけ、秘伝のタレが適度に染み込んだご飯と一緒にふくよかな鰻を一口頬張れば、たちまちにこやかな表情になること請け合いです。夜は二階の和室でのコース料理も豊富で、和服姿の御姉様に静岡の銘酒“初亀”をお酌されれば最高! また店内にはお客さん達の作品の写真や絵画、人形等が飾られ幅広い客層に支持されていると感じられるお店です。

(高沢 敏晴)



「すみの坊」さん

沼津営業所のお勧めは、三島の『すみの坊』さんです。うなぎはさばく前に「活き締め」という作業をするそうです。活き締めとは、生臭さや泥臭さを取り除くためにうなぎを3~4日間水にさらす作業で、この水が悪くは旨味や脂が流れ、かえって味を落としてしまうそうです。三島のうなぎはその水に富士山の伏流水(天然水)を使用して美味しいうなぎになるそうです。

(小長井 亜由美)



「ゆざわ」さん

最後は、磐田営業所のお勧め『ゆざわ』さんです。磐田営業所の近く、田んぼに囲まれた場所にポツリと佇むお店です。まずお店に入ると、目に入るのが水槽! もちろん新鮮な魚達が泳いでいます。お勧めは、やはり特上うなぎ! 身の厚い大きい鰻が重箱に詰められていて、口の中でフワッと広がる美味しさです。

(金原 和美)

東中西すべてのうなぎを堪能した小川支店長に伺ったところ、地域、お店により「全然、味が違う」そうです。今夏の「節電」を乗り切る為にも、夏バテ防止対策に静岡へお越しの際はぜひ「うなぎ」をご賞味下さい。

ろっこうニュース

1日も早い復興を



福島県相馬市の仮設住宅135戸の竣工時写真(横浜支店 山田課長施工)

私たちは今、大震災応急仮設住宅工事を担当しています。立地の条件にもよりますが、1棟で5軒から8軒あり1DK、2DK、3Kが混在の間取りとなっています。1区画の発注で99戸迄は3週間、100戸を超えても4週間で引き渡さなければなりません。現在、宮城県東松島市をはじめ、岩手、福島県でも施工をしています。

施工は、日高本部長を中心に新潟・千葉・横浜・北関東・東北支店混合の特別チームにより行われています。北関東 上野部長、新潟 小林課長は作業員・資材の調達に関して、短期間でまとまった数量が必要なために懸命です。また、私が以前よりお世話になっている建築部長が話を聞きつけ、「仮設住宅でダクト業者を探しているらしいね、いくつか業者を当たってみよう」と言って、自分の仕事を止めてまで何業者も探し、紹介していただきました。施工、資材協力業者の方々はもちろん、こうした色々な方の協力を得ながら、現在も施工中です。他県も含め今までに402戸の引き渡しを無事完了しました。また近日中に220戸を引き渡し予定です。

入居が決まった家族の小さな女の子が、「きれいなおうちだね」と言っていました。彼女にとって避難所の段ボールの壁よりも、数倍もきれいな見えたのでしょう。この様な方々へ一日でも早く「団らんの家」を提供できるよう、これからもご協力宜しくお願い致します。(東北支店 松本章)

現地へ行ってきました@アメリカ

米軍工事支援センターは、米国市場製品の米軍工事への汎用性の調査を目的とし、全米規模で行われるライティングフェアの視察を行いました。また、ノースカロライナ州のGE盤工場にて製造組立の様子を見学し、納期や品質、製作時の要求事項と製作図への反映について工場関係者と打合せを行いました。

フィラデルフィアで行われているライティングフェアでは約3900ものブースがありましたが、そのほとんどがLED照明で一般のインテリアに使用する新製品ばかりで米軍施設に反映できるような器具はありませんでした。ただ、制御装置(調光制御、省電力)は、米国LEEDの対応もありメーカーも開発中との説明でした。米軍工事のスペックに出ているので、米国製品を更に調査していくべきと思いました。

GE工場では特に懸念している納期遅れや盤の製品管理について質問したところ、盤内の各部品のほとんどをメキシコで製造・調達するために機器製造に遅れがあり、それを無くするためには早い発注で対応することでした。組立品質管理は各組立ごとのチェックリストを見せられましたが、英文で書かれていたため、その場の検討はできませんでした。充電部の増締めマーキングについては、使用ペンキも確認しマーキング方法の改善を要望しました。日本と同様に製作図で依頼事項を具体的に要望すれば、指示通り製作しており、早い製作発注指示の対策をするよう、各米軍工事に展開したいと思います。製作図は日本のように細かく書か

れてない図面と見た方がよいでしょう。

代理店のACT社の輸出管理については、細かい製品管理と数量管理していることを物流倉庫の視察時に確認できました。日本人ならではのチェック方法に感じられました。

今回の視察では、米軍工事は早い手配がチェックポイントで、英会話が難点でしたが見方の違いがあっても、やはり話せば技術は理解してもらえると感じました。

(米軍工事支援センター 島 雅裕)

前田建設工業株式会社賞 受賞!



ますます頑張ります!!

去る5月25日、前田建設工業株式様の第41回前友会定例総会が東京都練馬区のホテルカデンツア光が丘で行われ、当社が社長賞を受賞しました。表彰式には東京本部 松村本部長が出席され表彰状と記念品を授与されました。この賞は川越ロジスティクスセンター新築工事における原価の低減・安全の確保・優秀な出来栄などを評価されたものですが、当社の今までの全国的な実績があったからこそ表彰されたものと思います。現場は年末年始にピークが重なり、工程の調整・作業員の配置が最も苦労したところですが、担当した森定所長、矢野主任をはじめ、支店員と協力会が丸となって取り組み、特に榊山一電設様の協力のおかげで無事に乗り切ることができました。大変名誉な受賞で光栄に思うとともに、この受賞を励みにしてこれからも「六興電気なら大丈夫だ!」と感じていただけるような安全で品質の良い施工を心がけてゆきたいと思ひます。

(北関東支店 金子 隆)

神戸支店 ダブル受賞! ~現場改善事例発表会~

6月3日梅雨の中、曇空ではありましたが、会場には熱気が満ち溢れていました。恒例となった「現場改善事例発表会」には北海道から沖縄にいたる全国の社員の代表として約100名が集結しました。9件の発表を実施し、神戸支店が最優秀賞、審査員特別賞を同時に受賞し、懇親会では喜びの声が聞かれました。(技術本部)

最優秀賞 神戸支店

神戸支店では高層マンションの受注が多いので、「高層マンション施工におけるちょっとした発想転換と工夫」という題目にしました。また、発表の5項目は身近で簡単に施工できるものを選びました。資料作成が大変で、出席者の方に一目見て分かっていたらいいような図を作るのに苦労しました。しかし、発表会を通して知識の向上に繋がったので、今後も支店内だけでなく全社的に技術や知識の水平



展開ができればと思います。お世話になりました皆様、ありがとうございました。(小林 直樹)

日々の努力が記事に

技術本部 大竹さんと東京本店 三井さんの書いた記事が雑誌に掲載されました。ぜひご覧ください。

『電気と工事』4月号・5月号

当社で新型コンテスタ運用評価



電設工業展で一般に公開された新型コンテスタは、アイデア提案を契機として製造メーカーと打合せを重ね、形状・性能等について試作が繰り返されて世に出る運びとなりました。運用評価では試作品を配布し、東京本店をはじめ3支店の現場担当者に試用を依頼しました。使い勝手、機能、形状等について多くの評価報告をいただき、この結果を反映して使いやすい形状になったと自負しています。

発売は9月予定とのことですが、作業性向上と品質確保の素晴らしいアイテムになると考えますので、是非各現場で購入して活用する事を推奨します。(技術本部 大竹 健氏)

『電設経営』7月号

電業経営に『業界で働く女性たちの職場最前線』という記事を掲載させていただきました。時が経つのは早い物で、今年で入社して10年目、現場に配属になってから7年目になりました。掲載記事の内容は主に現場で自分が行った事や感じたことですが、今まで女性の少ない職場に踏み込んで行くことの苦労は今でも感じています。しかし、とても遣り甲斐のある仕事だと思っています。この記事が少しでもこの業界に興味を持った女性への糧に繋がる事を期待しています。

(東京本店 三井 裕子)

<現場改善事例発表 タイトル一覧>

最優秀賞・審査員特別賞

・高層マンション施工におけるちょっとした発想転換と工夫 (神戸支店 澤 高志・河野 拓史・小林 直樹)

優秀賞

・工場における工事事例 (静岡支店 白石 雅紀・吉田 豊・丹羽 晃浩・更谷 孝)

優良賞

・冷凍機試運転チェックに伴う模擬抵抗ボックスについて (EP部 宮本 康之)

その他

・「36シリーズ」ほんとお得? (千葉支店 岡崎 裕司)

・米軍積算についての留意点

(九州支店 田中 文憲・方 立偉)

・北陸自動車道照明器具更新工事における改善事例について (新潟支店 高沢 毅・前田 伸樹)

・現場で実行したVE事例(茨城県 録田 利男・中村 友裕)

・高層マンションにおける問題点と対策

(東京本店 進藤 浩永・荒河 実己・鈴里 英正・小岩 伸也)

・共同住宅リニューアル施工事例及び今後の動向

(東京第三支店 中村 勝浩・石川 誠)

恒例 本社ボランティア活動



佐々木本店長も体張ってます

雨が降る中、5月28日にボランティア活動を行いました。台風が接近し清掃活動は順延となり、献血のみの活動でしたが、忙しい中

70名の方が参加し、60名の方が献血してくださいました。ご協力ありがとうございました。

当日は大雨だったため、皆さん参加して下さるか不安でしたが、開始してびっくり!? 皆さん、時間通りに続々と集まり、賑やかに話をしながら献血の順番を待っていました。リラックスしながら待つ人、初めての献血で少し緊張している人、いろいろな人がいましたが、献血終了後は「終わった…」という達成感で休憩車で和やかに休んでいました。血を抜かれて、具合が悪くなってしまった方も予想以上にいましたが、最後にはたくさんのお菓子を持って帰って行きました(笑)

献血できた人、できなかった人も次回もぜひご協力ください。清掃活動は、10月頃に予定していますので、そちらもご協力よろしくお願いします。(人事管理室 菅野 李香)

幅広い人材を求めて

より良い人材を確保するために2012年の新卒採用では、「採用プロジェクト」が発足となりました。メンバーは人事管理室だけでなく、他の部署からも参加しています。これまでの採用プロセスを検証・分析することにより、当社を第一志望としてくれる学生を増やすにはどうしたら良いかをメンバー全員で考えました。

今年行った試みとしては、少しでも多くの学生に「六興」を知ってもらう目的で大学の学内企業説明会はもちろんのこと、リクナビやマイナビの合同企業説明会にも参加しました。また、本社内で行う会社説明会では、社長にも参加していただきました。努力の甲斐あってか、今年のエントリー者数は3,000人を超えました。更に「グループディスカッション」も行い、面接だけでは見ることのできない学生の一面を見ることが多少なりともできたと思います。

7月1日現在の内々定者数は、24名です。説明会には実際に現場で働く先輩社員や支店の皆様など数多くの方にご協力をいただきました。この場を借りて御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。(人事管理室 堀江 陽子)

ありがとうございました

3月11日に発生した東日本大震災で被災された多くの方々に、心よりお悔やみと一日も早い復旧・復興を願っています。さて、当協会の会員会社の中でも被害の差はありますが、東北支部、茨城支部、東京支部に所属する会社が被害を受けました。協会の中から誰ともなしに、「協会で義援金を」との話があり、被災支部以外の支部会員に「義援金」を呼び掛けたところ、多くの会社から心温まる義援金をいただきました。

協会本部幹事による協議等により、被災程度により支給額に差をつけて支給することが決定しました。現地と協議し、5月24日・25日に東北支部、5月30日に茨城支部に本部事務局長と二名で義援金を渡しに行ってきました。

東北支部は二瓶支部長に佐藤支店長立会で、茨城支部は山野支部長に伊藤支店長及び被災された四業者の方々の立会で皆様に代わって義援金を渡させて貰いました。二瓶支部長は佐藤支店長と一緒に、被災された業者を訪問し渡して貰えるとのこと。茨城支部では、その場で支部長から各社に義援金を渡して貰いました。

被災された皆様から見れば決して多い額ではありませんが、全国に「六興電気㈱工事安全衛生協会」の仲間がいることを認識していただき、少しでも手助けになればと思っています。東北支部の翌日25日、短い時間の中で仙台～塩釜～松島～東松島～石巻の被災現場を視察してきました。報道等で見てはいましたが、現地の瓦礫撤去の状況を見ると予想以上に復旧に時間がかかると感じました。まして必要としている政治の力不足を考えると復興は更に心配となります。早く、被災地の皆さんが生活基盤が出来て希望が持てる状態になって欲しいものです。全国の会員と共に、今後何が出来るか会長として取り組みたいと思います。

(六興電気㈱工事安全衛生協会 会長 金澤 忠)

大震災の夜に

諸江修さんはマレーシアでコンサルタントをされており、当社ともご縁があった方です。震災時にたまたま来日されていて、東京から高崎に向かわれる直前に震災に遭い、本社にて一晩過ごされました。その諸江さんが「同志社グリーンクラブOB会」のホームページに寄稿された文書に、当社へのお礼の言葉が書かれていますので、その一部をご紹介します。

3月11日の午後、東京の山手線に乗っておりました時、地震に遭遇しました。電車で1時間半ほど閉じ込められた後、線路を歩いて浜松町の駅まで避難しました。その晩、群馬

の方に行く予定でしたので、東京に泊る場所がなく、お客様の六興電気様をお願いして、本社の会議室で一晩夜を明かさせてもらいました。困っている私に一晩の宿を提供してくれた、六興電気様の優しさに心打たれ、また涙をこらえました。

10日間の日本滞在中、大阪と千葉と東京で、3回涙をこらえる場面を経験しました。すべて感謝の涙です。そしてテレビで見る震災の様子、被災者の皆様の苦難を思い、こらえた涙を、1日も早い震災からの復興を祈りつつ、流しています。私たちクアラルンプールに住む日本人とマレーシア人の音楽家と音楽愛好家が集まり、4月17日にチャリティコンサートを行い、そこで集めた義援金を日本赤十字社を通して被災地に送ることを計画しております。(諸江 修 氏より)

“ろっこう”が選ぶ優秀安全標語

各支店の安全朝礼などで採用された安全標語の中から、新聞委員会で最優秀作品を選びました。

「一時のがれは2度の手間 省略せずに安全作業」
(新潟支店 草間 由美)



面倒なことをついつい後回しにしてしまうことがありますよね。後回しにするほど仕事量が増え、結果自分を苦しめることとなります。仕事の優先順位を考え行動すること、すばやい状況把握と判断が大切になってきます。安全に「あとでよい、ついででよい」という考えは禁物です。後回しにして後悔しないように安全に努めて欲しいと思いこの標語を作成しました。

おしらせ

義援金報告

このたびは義援金にご協力いただきありがとうございました。皆様のお気持ちは、総額270万円となり、その義援金に会社から370万円を拠出し、総額640万円を被災した社員及び震災の復旧に尽力された東北支店員全員に送ることといたしました。なお、被災した協会会社の社員への義援金は協会から送ることになりました。

7月～9月の採用

東京本店	営業課長	北村 和久
エンジニアリング事業部	管理係	黒木 早希子
静岡支店	営業担当部長	斉藤 臣弘

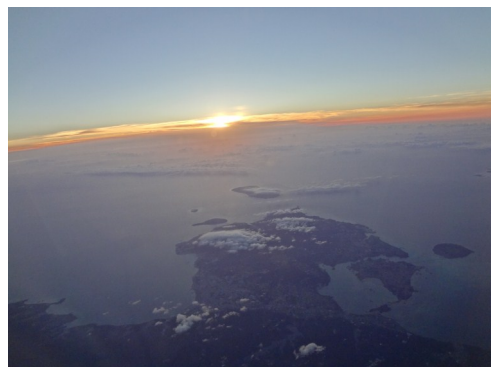
受注!

- ・東京国際大学グラウンド整備 (東京本店)
- ・相模トレーニングサポートセンター (東京本店)
- ・東埼玉病院病棟等更新築整備 (北関東支店)
- ・ミネベア㈱浜松工場厚生棟A棟建替 (静岡支店)
- ・キャプテックス岡崎工場新築 (大阪支店)
- ・統合新病院(善通寺・香川小児)整備 (中国支店)

7月～9月のスケジュール

月	経営会議	行事等	特別休暇
7月	2日	第71期経営計画開始 8日:賞与支給 8～9日:営業特プロ 22～23日:工事管理者研修 30日:任用測定試験(3級チャレンジ)	
8月	6日		15日～17日 夏季休暇
9月	3日	本決算期 9～10日:スタッフ系責任者会議	

はいさ～い\(^o^)/沖縄-12



名護市上空からの夕日

はいさ～い。皆さんちゃーがんじゅーですか。

とうとうこの日が来てしまいました。今回の記事が、関西系うちなんちゅによる『はいさ～い沖縄』の最終号となります。未熟な文章力で、皆さんに沖縄の魅力を充分にお伝えできたか? などところありますが、早いもので連載後3年以上の年月が経過し、今回で12号目となりました。3年以上というのは、私の沖縄在住期間と一緒に、私もこの記事を書きながら、自分なりの沖縄を学んできました。まだまだ魅力たっぷりな沖縄を離れるのは、少し寂しい気持ちもありますが、代わりにこれからは皆さんが沖縄を訪れて周りの方々に沖縄の魅力を伝えていってください。

最後になりますが、長い間この幼稚な文章にお付き合いいただき本当にありがとうございました。それでは皆さん、
『ぐぶり～さびら～(さようなら)』
by関西系うちなんちゅ

秋こそは…



チビッコ応援団も来てくれました

4月30日(土)に、東京電業協会主催の野球大会が明治神宮外苑軟式球場にて開催されました。昨年は初戦敗退という悔しい思いをしたので、「今年こそは初戦突破!」という目標を掲げ、関電工戦に臨みました。

試合は昨年の投手戦とは違い、序盤から点の取り合いとなりました。中盤までは接戦の好ゲームでしたが、私のトレーニング不足で昨夏に痛めた肘痛が再発し、制球が定まらず、6点差まで開いてしまいました。結果としては負けてしまい、昨年同様に悔しい思いをしましたが、全員が最後まで諦めずに戦い抜いたことで、普段の業務では築くことのできない絆が生まれたと思います。日頃、他部署の方々との接する機会があまりないので、野球を通じて社内交流ができたことも大変貴重な経験となりました。

今回、たくさんの方々を連休中にもかかわらず貴重な時間を割いて応援に来てくださった事に感謝して、秋には良い報告ができるように頑張ります。今後も応援宜しくお願い致します。

(東京本店 都筑 悠太)



■ ■ 美味しいお店 ■ ■

岩国の美味しいもの

今回は岩国基地から車で約30分ほど離れた「山賊」を紹介します。

このお店は広島、山口で知らない人は

いないほどの有名なスポットで、広大な敷地にど派手な外観、そして不思議な空間が魅力的なお店です。夜は遅くまで営業していてイルミネーションがすごく、まるでお祭り状態です。なぜか店内には神社、城、鎧武者、滝、池、お地藏さん、太鼓などがあり幻想的な雰囲気にさらされ、他にはない気分で料理を楽しむことができます。

この人気料理は、山賊焼き(秘伝のたれを絡めた鶏肉を炭火で串焼き)、山賊むすび(鮭、梅、昆布入りデカむすび)、山賊うどん(こしが微妙?)です。あと、山賊娘(山賊店員50歳以上のおばちゃん達)も人気上昇中です。この他にも、川魚



料理やステーキ、デザートなど数多くのメニューがありますので、みなさん、是非一度は「山賊」へ行ってみんさいや~!

(中国支店 空山 和弘)

活躍する六興OB **鬼形 弘さん**

六興電気株には時々訪れているので、つい最近まで勤務していたようなつもりで改めて計算をしてみましたら、なんと平成8年9月に卒業しておりました。退社して15年、月日の経つのは早いものですね。



私は昭和36年に前社長山路、西牟田、大阪の行天、3氏と一緒に入社しました。同期には遠藤、馬場両氏、中年組では、佐々木幸雄、佐藤静雄両氏がおりました。大卒が複数入社する先駆けとなり話題となったことを記憶しています。当時印象に残っていることは、尼崎市庁舎を落札(6~7000万、初代千葉支店長鈴木昇氏が担当)、六興最高受注金額とのことで、本社の全員の昼食に寿司が出ました。数ヶ月後、今度は虎ノ門にある大蔵省印刷局庁舎(9,000万台、山路氏担当)が落札でき、これまた寿司が出て感激したことを覚えております。

さて、私は工業高校を出ておりますので、製図は学んでいました。入社即、上司に建築図をトレースしなさいと命じられ、その場で仕上げましたところ、お前は図面が書けるから現場配属だと工事部所属とされました。昭和38年には茨城の下館市民会館を担当しました。市民会館ですので、舞台照明・音響があり、技術を知らない私がよく1人で完成できた今でも冷や汗ものです。最も当時の電気さんは、皆ベテランで技術に精通しており、おんぶにだっこの状態でした。また、新婚早々、石川県の金沢に転勤となり、「出張所にするから一軒家を借りなさい」とのことで、家内が電話番で、私は現場担当兼営業で石川・富山・福井の3県を飛び回りました。関東生まれの私は冬の雪のことを考えず、新興住宅街の1画に住みました。車を持っているのは、私1人でありましたので、毎朝バス通り迄の7~80m除雪作業をしないと車が出られません。これにはほとんど困りました。本社に日報を送りましたら、鬼形は雪かきをして遊んでいると笑われました。今年の裏日本の降雪量の多さに往時を偲び懐かしく感じた次第です。その後横浜支店に配属になり、4年後仙台に飛ばされ、2年後に舞戻って、20年間横浜支店におりまして、最後は安全管理部でありました。

まだまだ沢山のエピソードがありますが、機会があれば続編といたしましょう。六興電気株のご隆盛と皆様のご健勝を祈念申し上げて便りとさせていただきます。



リレートーク

大震災からはや4ヶ月。あの時を振り返ってみる。家の中には、倒れた家具と割れた食器の山。幼い娘2人をととも中には入れられない。学校への避難も考えたが、1歳の娘が泣き喚くと思ひ断念。必死に片付け開始。暗闇の中、数時間格闘し、何とか寝床を確保。



愛娘 響ちゃん

余震に耐え一夜を過ごす。翌日、まずは食糧確保と冷蔵庫を確認。なぜか数年に1度お目見えするかどうかのステーキ肉(嫁の間の悪さにはつくづく感心する…)。ストーブで焼く。他の食材も腐らぬよう火を通す。これで何日か食べる。水は裏の公園で運よく出ているが長蛇の列。長時間並び確保。その後は物資調達に駆けずり回った。娘は無事であったがちょっとした問題があった。学校は休み。だらけている。水も食料もずっとあると思っている。完全に事の重大さに気づいていない。これではいけないと思い、娘を連れ被災地を訪れる。途中まではしゃいでいたが、凄まじい光景に言葉も失い寝てしまった。気の毒に思ったが、震災の怖さを子供なりに感じ取り忘れないでほしかった。

私は今回の地震で被災した知人の事で数年振りに大泣きした。復興も悲しみが消えるのもまだまだ時間がかかると思う。ただ今回の震災で改めて感じたのは人の優しさでした。数多くのご支援、温かい言葉をくださった皆様には心の底から感謝しています。有難うございました。

今回は横浜支店・北野 健二さんです。

(東北支店 小野 寧親)

卒業&新メンバーのご紹介

この度、部署異動のため広報プロジェクトを卒業することになりました。今は沖縄営業所に異動し、素晴らしい自然に囲まれた環境で働いています。短い間でしたが、記事の依頼などを通して様々な部署の方と接する機会が持てたことは、非常に貴重な経験になりました。今までご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。



P.S.

沖縄にお越しの際は、ぜひ営業所にお立ち寄りください!お待ちしております。

(沖縄営業所

藤野 広実)

今回から広報プロジェクトメンバーの一員となりました。主に藤野さんが担当されていた竣工現場、安全標語の記事を担当させていただきます。入社して半年とまだ分からないこ



とばかりですが、これから執筆のお願いやシステム関連のことでご連絡させていただくことがあると思います。その際はご協力お願いいたします。

(システム開発室 廣川 和之)